

令和4・5年度 第7回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

- 1 開催日時 令和5年12月5日(火) 13時30分～15時20分
  - 2 開催場所 高津市民館11階 第4会議室
  - 3 出席者 委員 迎部会長、角田副部会長、志水委員、仙北谷委員、田村委員、松崎委員、川口委員、  
渡部委員  
事務局 坂尾館長、岡部分館長、細谷係長、下間係長、本郷(記録)
  - 4 議題・資料  
〈議題〉(すべて公開)
    - (1) 第6回専門部会摘録(案)について
    - (2) 令和5年度高津市民館・橘分館事業計画について
    - (3) 市民自主学級・市民自主企画事業について
    - (4) 高津市民館専門部会の調査審議事項について
      - ア プラザ橘まつりにについて
      - イ 報告書(案)について
    - (5) その他
    - (6) 閉会〈資料〉  
【本日の次第】  
【資料1】川崎市社会教育委員会議規則  
【資料2】【専門部会摘録】令和4・5年度第6回社会教育委員会議高津市民館専門部会摘録  
【資料3】生涯学習支援課事業一覧【高津+橘】  
【資料4-1】【高津市民館】R6市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内  
【資料4-2】【橘分館】R6市民自主学級・市民自主企画事業 募集案内  
【資料5】プラザ橘まつりにについて  
【資料6】川崎市社会教育委員会議高津市民館専門部会「学びとにぎわいのある市民館を目指して～市民と共に市民活動の再開と活性化を進める市民館～報告書(案)」
- 5 傍聴者3人
- 6 会議内容
  - 1 開会 事務局：下間係長 資料確認
  - 2 館長挨拶

坂尾館長：11月22日発生 of ノクティビル火災の件と市民館・ノクティビル避難状況等説明。現在警備・警戒を強化している。

### 3 部会長挨拶

迎部会長：火災には驚き、心配した。世の中混沌としているが、その状況でも市民館は幅広世代の学びの場として、より多くの方が学べるよう工夫されている。本日もより良い学びの場として市民館運営ができるよう、各委員未来志向で前向きな意見をいただき、話し合いたい。よろしく願う。

### 4 議事事項（進行：迎部会長）

#### （1）第6回専門部会摘録（案）について（資料2）

事務局（下間係長）より資料2を確認、修正等はなし。

#### （2）令和5年度高津市民館・橘分館事業計画について（資料3）

事務局（高津市民館・細谷係長）により資料3を基に説明

迎会長：平和人権の講座について、実施の結果はどうか。

細谷係長：年明け2月から開催される事業なので、まだ実施されていない。

迎会長：失礼した。どのような内容か。

細谷係長：配布チラシに記載されているように、関東大震災100年等災害の節目の年であり、それをきっかけにして都市での大規模災害の備えを地域で考えていくという趣旨である。

迎会長：参加者はどのくらい集まっているのか。

細谷係長：数日前から募集が始まったばかりでまだである。さらに広報を強化する。

迎会長：多くの方に学んでもらえるよう広報周知を頑張ってほしい。

#### （3）市民自主学級・市民自主企画事業について（資料4-1、4-2）

事務局（高津市民館・細谷係長）より資料4-1、4-2を基に説明

松崎委員：この提案は、再募集はしているのか。

細谷係長：これまでは、再募集をする状況はなかった。

迎会長：落選した団体からの苦情等での支障はないのか。

細谷係長：募集時に職員が団体の相談を受けた上で提案するため、落選者からの苦情は特にない。

迎会長：市民自主の提案者が必要書類を作成するだけでも大変だと思うが、書類の作成は提案者の負担になってはいないのか。

細谷係長：提案者は問題なく書類を整え、提案している。

迎会長：提案者の人数はどうか。はじめから5~6人で相談や提案をする者もいるのか。

細谷係長：数人集まって提案する団体はいる。団体提案についても相談に乗っている。また、この時期から市内の教育文化会館・市民館・分館で一斉に募集をしている。提案日は各館によ

る。市民自主実施希望団体は活動の拠点のある区で提案し、個人は在住・在学・在勤する区で提案してもらう。

川口委員：提案が実行委員会形式なので、提案書は個人で記入するものではないと理解しているが、単独で提案は可能か。

細谷係長：申し込みは1人でできるが、事業委託時まで5名以上の団体化をして事業を行う。

仙北谷委員：市民自主は職員が企画を共に考えているので良い方向に事業が実施されていると思う。

志水委員：提案での個人情報の取扱いはどうなっているか。

細谷係長：個人情報、市民館で管理している。専門部会委員には個人情報は伝えていない。提案団体の構成員は各市民館で重複等しないように情報提供しあうが、最低限度である。

志水委員：収支報告はどのようにされているのか。

細谷係長：提案団体が今回の提案以外に既に他の助成金等を得て活動しているかどうか等を確認しており、その場合はこの提案と分けて収支を作成してもらう。

志水委員：領収書等は終わった後に提出してもらうのか。

細谷係長：領収書等は事業終了後に報告書と共に提出してもらう。報告作成等の事務作業は、確認やサポートを常に担当職員が入りながら行っている。

志水委員：インボイスの対応はしているのか。

細谷係長：対応している。

#### (4) 高津市民館専門部会の調査審議事項について

##### ア プラザ橘まつりについて

事務局（岡部分館長）より（資料5）をもとに説明。

迎会長：何人参加したのか。

岡部分館長：433人である。

##### イ 報告書（案）について（資料6）

事務局（坂尾館長）より（資料6）をもとに説明。委員には章ごとに質疑・訂正等意見をもらう。

###### 1 「はじめに」

角田委員：資料内で書かれている「施設利用」という表現より「会議室の貸し出し」としたほうが、実態の様子がわかりやすく、よいと思う。

迎会長：P1、8行目の「休止」の表現は「停止せざるを得なかった」の方が、状況がわかりやすいのではないかと。表現は検討いただきたい。

坂尾館長：再検証する。

###### 2 「高津市民館・橘分館での新型コロナウイルス感染症の影響について」

川口委員：新型コロナウイルス感染症後、市民館に人が戻ってきていると感じており、このような表現になっているのか。

坂尾館長：お見込み通りである。

川口委員：P4の2022年度のギャラリーとホールの利用のみ1ヵ月分の実績ということが読み取れなかった。

坂尾館長：分かりやすくなるよう補足を入れる。

### 3 「市民アンケートについて」

迎会長：アンケートの数字等はまとめてあって分かりやすいが講座の様子の写真があるとより良い。

川口委員：写真は入っているので、ページ割の関係かと思う。「アンケート結果」と「写真」が別のページになっているからだと思うので、編集で訂正されればよいと思う。

迎会長：講座の作品写真があるとより良い。

細谷係長：作品の写真は撮っていない講座もある。例えば「小学生のための絵本作り講座」は、子どもたちが作った絵本を発売している写真は撮ったが、個々の絵本は撮影していない。

川口委員：人が映り込む写真はどのように取り扱っているのか。

細谷係長：人が映り込む場合は、あらかじめ撮影の許可を取っている。

迎会長：講座を継続して実施できるとよい。続けることで高津市民館の特色が出るとよいと考える。

川口委員：各アンケートから事業の結果まとめが見つけにくかった。最後に添えているのはわかったが、ページ割等で工夫されるとよいと思う。

渡部委員：アンケート調査結果のまとめの表現が数点気になった「スマホを持たされていた…」等、表現を見直してほしい。アンケートのまとめと提言の部分は、分けて書かれていた方が分かりやすい。

迎会長：修正を検討願う。

田村委員：今更だが、今回のアンケートの内容は、「市民アンケート」とするには、そもそも統計的に成立しない。各講座に目的があって参加した方からアンケートをとっているのだから、結果が見えてしまう。「市民アンケート」としては、もっと多くの市民から、どんなものを求めていたのか収集しないと、今回の特定の講座に参加した人だけの結果では成り立たない。

川口委員：今回のアンケートの回答からは、「家ではできないことができる」ということが求められているということが分かるのでよいと思う。

坂尾館長：調査対象は、講座を受講に来た人なので、「市民アンケート」というタイトルではなく「利用者アンケート」と修正させてもらう。

田村委員：今から思うと、ほかの方法でもっと多く、500～1000件集められたら良かった。今回の場合は、市民館を利用した人へのアンケートということをもっと明確にした方がよい。

仙北谷委員：今回のアンケートは市民ではなく利用者アンケートだったので結果が誤解されやすい。目指す方向、「回答から得ようとする事やアンケートの目的」を明確にした方がよいと感じた。

田村委員：「賑わい」の部分について何も書かれていない。

川口委員：「利用状況」で、「賑わい」はわかるのではないか。

田村委員：「利用状況」だけでは「賑わい」について触れられていない。資料3の事業一覧を入れることで、人が集まっていることが伝わるのではないか。

迎会長：アンケートを行った事業だけでなく、事業全体を含めて提言に入れた方が良いと思う。

坂尾館長：社会教育事業全体の中で、その一部である小、中、高校生向けの講座を今回は取り上げていることが分かるように修正する。またサークル活動発表のイベントも同様に、市民館で行われている様々な取組の中の一部であることが分かるような表現に修正する。

志水委員：利用率だけでなく、利用人数を入れてほしい。

坂尾館長：利用率の横に利用人数を入れるようにする。

#### 4 「おわりに」

坂尾館長：これまでの委員各位の御意見を踏まえ、報告書に適宜手修正し改めて提示する。

川口委員：18Pのアンケートの結果の検証部分を「おわりに」へ移されるとよい。

田村委員：コロナ後、活動団体が減っている。団体メンバーの高齢化による、世代交代の問題もある。活動は回復の途上にあると言える。

また最近日本は外国人が増えている。外国人市民向け講座は成功している。

迎会長：志水委員の提案のように、利用人数を入れるとよい。

坂尾館長：今回の各位の御意見をもとに報告書を修正する。

#### 5 その他

田村委員：前回提案した案件について、コピー機の設置と、ロビーの座る場の提供についての進捗はどうなっているか。

下間係長：コピー機の設置は、予算の確保もあるため、現在調整中である。またロビーの椅子の設置は椅子の確保ができたので受付を待つ方用に受付カウンター前に設置準備をしている。

##### ・次回の開催日程について

##### 第8回専門部会

日時 令和6年2月24日（土）午後1時～5時 場所 視聴覚室

内容 令和6年度高津市民館・橘分館市民自主学級・市民自主企画事業企画 提案会、審査・選考  
令和4・5年度川崎市社会教育委員会議高津市民館専門部会報告書（案）について

#### 6 閉会